

Weekly 原油情勢

改定幅予想(9/4～9/10)

+1.5～+2.5

9月1週(8/26～9/1)トピックス

原油相場は小動き。強弱材料が交錯し方向感が定まっていない。トランプ大統領がロシアに対し、ウクライナとの停戦に応じなければさらに強力な制裁を加えると述べたことも、相場を支える材料となっている。

過去トピックス

8月1週▲

原油は小幅高。米国の対ロシア制裁でロシア産原油の供給減少懸念が根強い一方で、米原油在庫が予想よりも増えたため、やや売りに押されている。

8月2週▼

原油は小幅まちまち。ポジション調整の買いが入る一方、複数の弱材料が散見し、相場の上値が重く推移している。

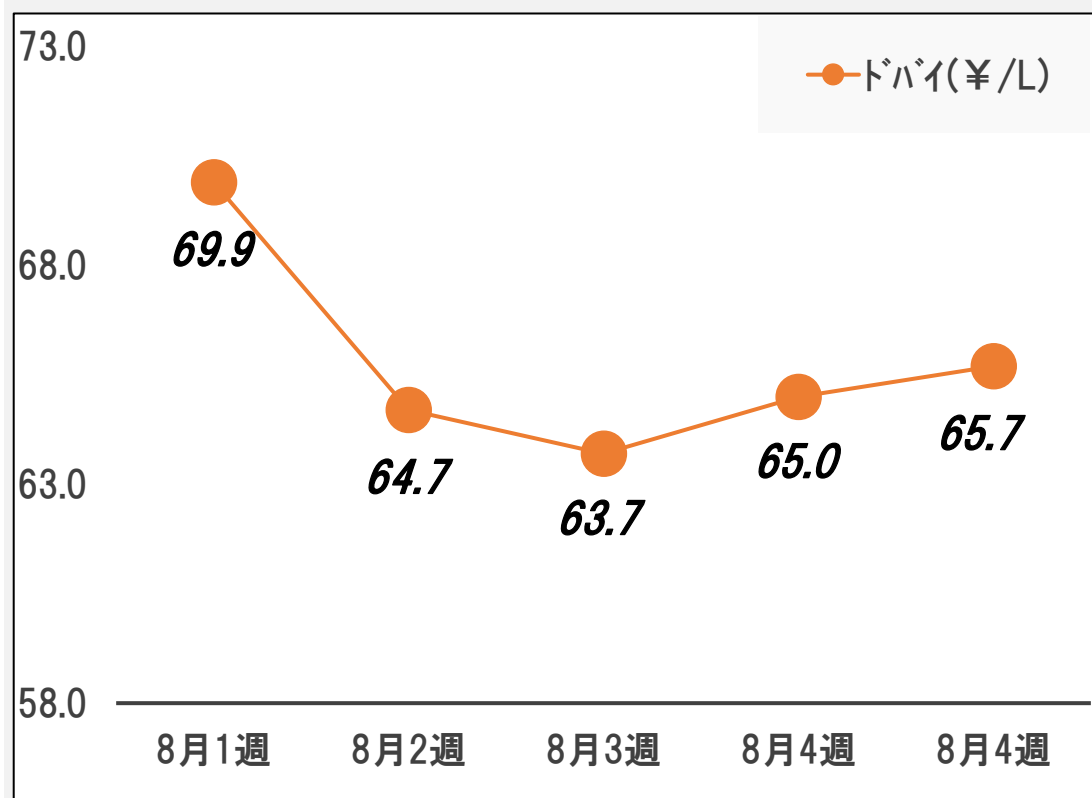
8月3週▼

原油は反落。中国経済指標の小売売上高や鉱工業生産指数はいずれも事前予想を下回る結果。中国経済の不透明感が拭えないことが、原油相場に下方圧力を加えている。

8月4週▲

原油は続伸。米エネルギー情報局(EIA)が20日公表した米原油在庫が減ったことや、ロシアがウクライナのゼレンスキー大統領との会談に慎重な姿勢を見せたことで、アジア時間でも買い戻しが入っている

価格推移表



週	期間	ドバイ(\$/バレル)	為替(TTS)	ドバイ(¥/L)	増減幅
8月1週	7/29～8/4	74.0	150.2	69.9	3.6
8月2週	8/5～8/11	69.4	148.4	64.7	-5.2
8月3週	8/12～8/18	68.1	148.6	63.7	-1.0
8月4週	8/19～8/25	69.5	148.7	65.0	1.3
8月4週	8/26～9/1	70.4	148.3	65.7	0.7

「FUJISHO BLACK LABEL」ホームページはこちらよりアクセス ▶▶▶

